

総合計画

問 第5次総合計画策定は

答 村民向けのアンケート調査を行う



田中榮一議員

【第5次総合計画策定に

ついて】

問

今後の予定は。

村長

26年度末までに村民向けのアンケート調査を行い、合わせて第4次総合計画の検証も踏まえながら27年度末にかけて計画策定作業を行います。

問

地方自治法の改正により、基本構想の策定義務規定が廃止されているが。

村長

策定義務はなくなりましたが、総合計画・基本構想は、村の将来像を示し、村民とともに、課題や目標を共有していくための大きな柱

であると考えています。また、

本年9月をめどに、計画審議会条例の改正、あるいは新たな条例の制定等も視野に検討していきます。

地域の実情に合った計画の策定が望まれるが、

問

策定する以上は、より実行性の高いものにと

村長

考えています。

【国民健康保険について】

問

今回の改定理由、予定する効果と被保険者への影響は。

村長

後期高齢者支援金分と介護納付金分の支出超過が続き、不足分を医療分から補填していますので、その不均衡を是正するものです。一人当たりの国保税額は、24年度比で一人当たり7000円

の引下げとなります。資産割が大きく引下げとなりますので、資産をお持ちの方の負

担感は多少なりとも軽減され、滞納の減少につながるものと思われま

問

基金の活用方法は。

村長

基金の現保有額は1億6900万円余りで、国が示す給付費準備保有額の5000万円を確保しつつ、29年度まで毎年4000万円の基金を繰り入れ、国保税額を軽減します。

問

特定健診自己負担無料化による期待する効果は。

村長

受診率の目標値は65%ですが、24年度は49%です。無料化により、受診率が向上し、医療費抑制につながることを期待します。

【食育推進計画について】

問

計画策定から2年経過して、進捗状況は。

村長

今年度、密接に関連する「白馬村地産地消推



飯田婦人会ごみ拾い

進計画」を農政課で策定しており、今後は両計画の一体化を図り、情報を共有しながら、関係団体連携のもと推進を図ります。

問

「食育月間」を毎年6月と定めたらどうか。

村長

啓発活動や各種行事といった従来の取り組みも継続しながら、食育・地産地消の両面から、推進に向け

【学校教育について】

問

県教委は朝練について「中学生期のスポーツ活動指針」を策定したが、村の対応は。

教育長

スポーツ活動運営委員会を中心に検討し、方向付けしていきたいと考えます。